

岩手県の 土地改良



CONTENTS

- 平成20年度水土里ネット役員研修会開催2
- 岩手県議会農業農村整備推進
議員クラブ研究会を開催3
- 岩手県水土里情報活用促進協議会を開催4
- 土地改良相談Q&A5
- ビデオの紹介(新入荷)5
- 今後の行事予定5
- 疏水紀行6

2009(2月号)No.538

■発行所/岩手県土地改良事業団体連合会 盛岡市本宮二丁目10番1号
TEL(盛岡)019(631)3200 FAX(盛岡)019(631)3260

■編集発行人/川邊 賢治 ■印刷所/永代印刷株式会社

<http://www.iwatochi.com>

冬景の朝(一関市川崎町)



平成20年度 水土里ネット役員研修会開催

▶ 今後のNN事業の展望など5つのテーマを研修

水土里ネットいわてでは、1月29日～30日の両日、花巻市「ホテル千秋閣」において平成20年度水土里ネット役員研修会を開催し、土地改良区役員ら約300名がNN事業の展望等について理解を深めた。

主催者挨拶で、本会館澤宏邦会長は、「昨年度は、食に関わる問題が様々報道され、国民の食料自給率の向上と安全安心な食料を求める声は高まっている。各水土里ネットの運営は厳しさを増している状況ではあるが、本研修会を通して、水土里ネットの進むべき方向を検討する一助として欲しい」と述べた。



【挨拶を述べる館澤会長】

続いて、岩手県農林水産部の沼崎光宏農村建設課総括課長が、事業推進に対する土地改良区への労いととも県農業農村整備事業の現況にかかる須藤

県農林水産部農村整備担当技監の挨拶を代読した。

研修では、中野拓治東北農政局農村計画部長が『今後の農業農村整備事業の展望』と題して、世界的な食料需給の逼迫の懸念とわが国の食料自給率の低迷の状況を伝え、「平成21年度は、食料供給基盤の強化、地域資源の活用による地域づくりの推進、農山漁村からの低炭素社会の構築と地球環境問題への対応、の3つのテーマについて強力に推進し食料自給率を向上していきたい」と述べた。

引き続いて、水土里ネット越前堰の佐々木秀彦事務局長が『21世紀土地改良区創造運動の取組について』と題し事例発表を行った。小学校・中学校と連携した学習会やクリーン作戦、役員による農業用水利施設点検会の実施状況の紹介など、運動に対する考え方や取組状況などを紹介した。

初日の最後には、『岩手県の農業農村整備事業の推進方向』と題し沼崎農村建設課総括課長が、岩手県における農業農村整備事業の中期的な見通しや考え方、平成21年度の新規採択地区

などについて説明した。

翌日には、水土里ネットせんまやの藤原理事長と佐藤理事が『一関市千厩町奥玉地区農地集団化の取り組み』と題し農地集団化の取り組みとそれを契機とした県最大規模の農事組合法人の設立について、その苦労話と効果について語った。

最後に、『安心安全な栽培とコスト低減を目指して』と題し、(有)菅久ファーム代表取締役 菅原久耕氏が事例発表を行い、経営規模の拡大生産方式・経営管理の合理化、集落営農への取組、新たな販売戦略などについて発表を行った。

研修を受けた参加者の一人は、今後の土地改良区運営の参考にしていきたいと感想を述べていた。



【研修の状況】

岩手県議会農業農村整備推進 議員クラブ研究会を開催

▶ 農地・水・環境保全向上対策の活動状況を学ぶ

岩手県議会農業農村整備推進議員クラブ（会長：菊池 勲議員）では、1月20日、県議会大会議室においてクラブ会員30名の出席の中、農業農村整備の推進を図るために研究会を開催した。

最初に、菊池会長が「本日の研究会は、平成19年度からスタートした共同・営農活動を支援する農地・水・環境保全向上対策の県内における実施状況と具体的な取組み状況について学んでいただく。先進的な営農活動状況について、小館 長純二子地域環境保全推進协会会长に事例発表を行っていただくことになっており、今後の農業農村整備推進活動の参考にして欲しい」と挨拶を述べた。



【挨拶を述べる菊池会長】

次に、舘澤 宏邦水土里ネットいわて会長が「昨年度から実施している、農地・水・環境保全向上対策は、県下全域で取り組まれており、今年度において追加で採択された地域もある。非常に有効な対策なので、議員の方々のより一層の御協力を賜りたい」と述べた。



【研究会の状況】

課題研究に入り、沼崎 光宏岩手県農林水産部農村建設課総括課長が「農地・水・環境保全向上対策の実施状況と今後の課題について」説明を行った。

取組事例の発表では二子地域環境保全推進会の小館 会長が「当会は、平成13年に設立した二子中央営農組合と水土里ネット岩手中部及び地元の自治会等

の8団体の共同で組織し、活動している。用排水路の草刈、清掃作業等の基礎活動から水路の補修、植栽作業等の農地・水・環境向上活動まで計画的に取り組んでいる。また、先進的な営農活動としては豚糞堆肥を施用した土づくり、有機質肥料の施肥による化学肥料の低減に取り組んでおり、安心して消費者の方々に提供できる安全な農作物づくりに励んでいる。今後も、他の地域の活動組織の模範となるように頑張ってもらいたい」と取組状況を紹介し、本対策への更なる支援を求めた。

参加した議員たちは、本対策の意義と重要性についての認識をさらに深めたようであった。



【発表する小館 会長】

岩手県水土里情報活用促進協議会を開催

▶平成20年度の活動実績報告とこれからの課題を検討

岩手県水土里情報活用促進協議会（委員長・須藤勝夫県農林水産部農村整備担当技監（兼）農村計画課総括課長）は2月13日、本会会議室において、第5回協議会を開催し、地図情報等の利活用の促進と、今後の協議会の課題等について協議した。

この協議会は、県、市町村をはじめ、土地改良区、農協などの農業関係団体あわせて16名の委員で構成され、水土里情報利活用促進事業で整備する地図情報等の管理・提供に関する具体的な内容を協議する機関として平成18年度に設立された。

開会にあたり須藤委員長は、「市町村、土地改良区等の関係機関が所有する農地に関する情報を共有化し利活用していくためには、地図情報に農地の所有者や利用に関する情報を重ね合わせていく必要がある。それには今年度からスタートした農地情報整備促進事業を推進しなければならない」と挨拶を述べた。



【挨拶を述べる須藤委員長】

議事においては、須藤委員長が議長となり進行し最初に、事務局から平成20年度までの整備見込みにおいて、デジタルオルソ（面積ベース）、農地筆図（筆数ベース）ともに全県で90%以上であることなどの報告がなされた。

続いて、農地情報図の利活用の促進について協議がなされた。水土里情報利活用促進事業でデータ化した農地筆図は登記簿地目を基本として登録するため、現況地目との不整合から不法転用やヤミ開田など、誤解や混乱を招く恐れがあり、現況地目を備えた農地基本台帳と突合するなど、農地情報を充実する必要がある。

本協議会としては県担い手育成総合支援協議会をはじめとす

る関係機関・団体に対し、農地情報整備促進事業の実施を働きかけていくことと、水土里情報システムにかかる利用負担のあり方について検討開始することが、決定された。

委員からは「便利で使い勝手も良さそうだ」などと利用意向を示す一方で、「どうやって維持経費を捻出していくかが課題だ」などと費用面での不安の声も聞かれた。



【協議会の状況】

協議会の今後のスケジュールとして、平成23年4月からの有償による本格運用までに、5回程度の協議会を開催し、負担方法についての検討を重ねていくほか、ユーザー説明会や国に対する経費負担の要請等を行い、利用負担額を決定していく方針が示され、閉会した。

いわてシリーズ 疏水紀行 ⑥

「岩手県の土地改良」では、疏水の歴史や疏水を通じ活動を展開する水土里ネットをシリーズで掲載しております。

6回目となる今回は、受益が滝沢村と雫石町、盛岡市に跨る「越前堰」を紹介します。

地域へと受け継がれる四百年の流れ [越前堰]

430年前に開削された 県内最古の用水路

越前堰のはじまりは、今から約430年前の安土桃山時代の天正4年(1576年)に雫石城主に仕えていた綾織越前ひろのぶが開削した農業用水路で、県内最古の用水路と言われています。

水源は岩手山中の持籠森や鞍掛山のグンダリ沢で、32kmにおよぶ用水路を34年の歳月をかけ開削したほか、380haの水田を開墾するなど私財を投じて完成させたと伝えられています。

堰の名称は綾織越前広信の偉業を讃え越前堰と名付けられ、地域の米作りの礎となっています。

地域とともに 「クリーン作戦」

水土里ネット越前堰では、地域の自治会とともに毎年「越前堰クリーン作

戦」と名付けた清掃活動を展開しており、このような活動を通して越前堰の歴史や水の大切さ、農業水利施設の多面的機能についても理解が深まるとともに、自治会活動の活性化にも寄与しています。

地元小学校 2校の合同学習会

滝沢村立篠木小学校と盛岡市立土淵小学校の児童達を対象に学校の協力を得て、合同学習会や交流総合学習発表会を毎年開催しています。

この学習会では、水路を開削した綾織越前広信の功績や農業水利施設の役割、水の大切さなどのついて学ぶほか、地域の歴史に詳しい地元の方から、天秤棒による水汲みや洗濯板での洗濯など昔の生活風景とそれを支えた越前堰との関わりについて話を聞くほか実際



に天秤棒を担ぐなどして昔の生活の苦勞を体感しています。



21世紀土地改良区創造運動 大賞受賞

水土里ネット越前堰では、平成20年度の創造運動大賞を受賞しました。

これは、前述のような地域と連携した活動や近隣小中学校との取り組みなど、全国の模範となる創造運動を展開していることが評価されたものです。



水土里ネット越前堰(越前堰土地改良区)

理事長:田沼 齊 事務所:岩手郡滝沢村篠木字待場80番地 TEL:019-687-2304

